



# スクラム

## 平和学習

まもなく夏休みを迎えますが、今から76年前の8月15日、太平洋戦争が終戦を迎えました。

太平洋戦争は、第二次世界大戦の一部ですが、この大戦では終戦までに世界中で多くの人が苦しい生活を強いられ、またたくさんの方が亡くなりました。

私たちは現在、戦争などのない平和な日本で生活していますが、先の大戦のようなことを絶対に繰り返してはいけません。ということで、先の大戦中にどんなことがあったのかを知り、考えるため、7/13に平和学習を行いました。

1限目に各教室で「沖縄戦」について学習した後、体育館に集まり『さとうきび畑の唄』というドラマを見ました。

平和について・戦争について・自分はどのように生きたいか・自分ができること、取り組むべきことは何なのかということを考えるきっかけにしたいと思います。



### 平和学習の感想より

●この映画を見て思うことはたくさんありました。幸せで過ごせていても国によってそれを崩されてしまったり、自分で望んでいなくても言うことをきかないといけないという国の状況に驚きが隠せませんでした。「僕はこんなことをするために生まれてきたんじゃない。」という言葉には自分も考えさせられるとともに、すごく心に刺さりました。今、当たり前のように過ごせている毎日が一番幸せだということを理解することができました。一人ひとりの限りある命を大切にしていかなければならないということを改めて感じることができました。

(2組 男子)

●沖縄地上戦は原爆などと比べるとあんまり目立たないなと思っていました。でも地上戦は銃で撃ちまくったりして、戦争というものがより怖く感じました。昇が生き抜こうと思っていても生き抜けなかったように、生きたくても死んでしまった人が戦争で何万人もいるということを忘れずに生きていきたいと思いました。

(2組 男子)

- 私のひいおじいちゃんも沖縄の戦争で亡くなったとおばあちゃんたちから聞いたことがあって、その時はあまり考えなかったけど、この映画を見て本当に悲しくなりました。その時おばあちゃんはどんな気持ちだったのだろうと考えると、本当に悲しくなりました。戦争は絶対にしてはいけないと思いました。

(3組 女子)

- 「さとうきび畑の唄」を見て、私は戦争はもう二度としたらだめだと思いました。戦争は国どうしでもめて始まって、国民を犠牲にして戦うので多くの人が死んでしまいます。自分の国（日本）もそうだけど、アメリカとか他の国の人たちも家族を失ってつらいと思います。「私は人を殺すために生まれてきたんじゃないんです。」という言葉聞いたとき、とても心が痛くなりました。みんな楽しく平和に暮らしたいと思っているのに人を殺すよう言われて、簡単に殺せるものじゃないと思いました。今でも戦争のことで心を痛めている人がいると思います。これからは戦争をしている国が無くなっていけばいいなと思いました。

(3組 女子)

- 昔は死ぬのが当然のような感じで、特攻隊など突っこんで死ぬのが当たり前なのがとても悲しいです。昔があるから今があると云いますけど、昔の人が戦ってくれなかったら今の日本はありません。笑顔で死にに行くのはとても悲しいです。でもそれを否定すると、非国民と言われて警察に連れていかれたりするのはかわいそうだと思う。毎日生きているのは当たり前じゃないから、生きている今を後悔ないように生きよう。

(3組 男子)

- 映画を見て思ったことは、家族が戦争によってどんどんいなくなっていくことが怖かったと思いました。ちょっと前までいっしょに話して笑っていた家族が、次々にいなくなっていくのは本当に嫌だなあと云いました。そして、戦争に行った人々は何を思ってアメリカ軍と戦っていたのかが気になりました。

(5組 男子)

- 「さとうきび畑の唄」を見て、戦争は残酷でみにくいものだし、命は本当に大切なものだのと改めて感じました。平和学習を通していつも私たちが生活している平和な日々はあたりまえではなくて、大切な日々だから1日1日を大切に悔いのないように、そして二度と戦争が起こらない平和な国にしていけないといけないなと思いました。「人間は1人1人顔や性格は違っていても、同じ人間だ。」という言葉が印象に残ったので、その言葉の意味を理解した上で行動していきたいと思いました。

(5組 女子)

- 映像を見ただけでも、戦争のこわさが伝わってきて、自分がこの場にいたらどうなっていたんだろうと思いました。実際、日本人を殺さなかった兵もいたので、日本もアメリカも戦っていた兵の人たちは、やりたくてやっているのではないと思います。戦争は無くなってほしいです。

(6組 女子)